

説教「ナザレ人イエス」

(詩編 70 編 2-6 節 マタイによる福音書 2 章 19-23 節)

2021 年 1 月 3 日 (日) 新年礼拝

日本基督教団仙川教会

大串 肇 牧師

イエスが誕生された直後の消息をマタイ福音書は伝えています。それによれば、主の使いがヨセフの夢に現れてヘロデ王の幼児殺害を逃れる為にエジプトに行くように命じました。メシアが生まれることを知った王が自分の地位を守りたいがゆえに 2 歳以下の男子を皆殺しにしました。実際に多くの幼児が殺害されました。やがてヘロデ王が死に、そのあと息子であった 3 人兄弟のうちアルケラオが同じ父の名前「ヘロデ」という名で後継者となりました。そのときエジプトにいるヨセフのもとに主の天使が再び夢の中で現れ「イスラエルの地に行きなさい」と命じました。

まさにメシアが今こそ自分の民のところに帰還するわけです。「あなたの命を狙っていた者は皆、死んでしまった」。だから「エジプトに帰るがよい」とモーセに神が言われた場面を思い起こさせます。それは自分の民を奴隷の地エジプトから脱出させるためでした。ここではさらに大きな救いを実現させるためにイエスは遣わされるのです。そこでヨセフは主の天使の命令に従って帰郷しました。

ユダヤの地ではなく、ガリラヤのナザレにイエス一家は居住することになりました。ナザレという町は古代においてはほとんど意味がない町でした。ただ眺望の良いところで、シリアの首都ダマスコからエジプトに抜ける「海の道」につながる道がありました。国境線を守る要塞があったかもしれませんが。聖書においてもナザレはほとんど注目されることはありません。ところがマタイ福音書は次のように述べています。

ナザレという町に行って住んだ。「彼はナザレの人と呼ばれる」と、預言者たちを通して言われていたことが実現するためであった (23 節)

以来、イエスは「ナザレ人 (びと)」と呼ばれるようになります。つまり、こうして試練や困難にあっても彼はヨセフとマリアの生誕地、居住地に奇跡的に帰ることが出来ました。しかしながらこれは、偶然ではなく、神の使者の命令があったからであり、神ご自身のご計画であったことが暗に言われています。そのことを強調するために、この出来事はかつて預言者が預言していたことであるとマタイ福音書は訴えています。

ところが、不思議なことに旧約聖書のどこにもメシアがナザレ人であったとか、ナザレという町自体に関する言及すら一切見当たらないのです。しかもここではイエスは「ナザレ人」とであると預言されていた、と明確に言われています。どの

ように理解すればいいのでしょうか。単純にナザレという町の出身者という意味なの
でしょうか。あるいはある特定の種族の名なののでしょうか。しかし、この原語（ギ
リシア語）「ナゾーライオス」という語の語源が実はよくわからないのです。です
から単純にナザレの町の出身者とは言えないのです（マルコ福音書はそのような意
味で扱うが、原語が違う：「ナザレーノス」）。また、種族や部族名でもないらし
いのです。

もしかすると旧約聖書の「ナジル人」（ヘブライ語：ナーズィール「選り出され
た、世俗的使用から分離・聖別された」神に捧げられた者）なののでしょうか。怪力
の持ち主であったサムソンや預言者サムエルがナジル人です（士師 13: 5, 7 ;
16:17 参照）。彼らは特定の種族の一員ではなく、特別の身分でもありませんでし
た。かれらは、神に誓願して厳格な戒律に従って神に仕えた人たちでした。しかし
明らかにイエスはこのナジル人ではありませんでした。イエスは単なる預言者でも
士師（英雄）でもありませんでした。

第2の説明ですが、ここでイザヤ書 11 章 1-2 節の預言が考えられています。

**「エッサイの株からひとつの芽が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ちその上
に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊／思慮と勇気の霊／主を知り、畏れ敬う霊」**

ここで言われている一ダビデの家系から生まれ出る一「若枝」こそ、来るべきメ
シアであると考えられました。この「若枝」（ヘブライ語：ネーツェル）と「ナザ
レ」（アラム語：ナツェラトないしナツェラー）が語呂合わせになっているという
説明が最も有力です。すなわち、イエスこそが（父をヨセフにする）ダビデの家か
ら生まれ出た、来るべき救世主であると言われているのです。

こうしてイエスがナザレ人と呼ばれることは聖書に約束されていたのです。また
マタイ福音書ではナザレは「異邦人のガリラヤ」と呼ばれています（3:15）。イエ
スは異邦人の住むガリラヤのナザレに来ることで、ナザレ人となったのです。異邦
人とは当時外国人のことを意味します。ユダヤ人から差別され迫害されていたので
す。しかしイエス・キリストはユダヤ人だけではなく、全世界の全ての人々のため
にこの世に遣わされたのです。そのために「ナザレ人」になられたのです。そして
イエスを信じる人は誰でもナザレ人になれる。キリストを信じる者になれるので
す。実は後代の人々はキリスト教徒を「ナザレ人」と呼びました。こうしてイエス
は全世界の人々に福音を宣教する教会の主となられたのです。わたしたちは誰でも
この主イエスキリストに招かれています。わたしたちは試練や困難な時にもこのお
方こそわたしたちの主であると信じてまいりましょう。